

2023年度 立教大学「学業奨励奨学金」および「内藤昌尚奨学金」募集要項

立教大学「学業奨励奨学金」および「内藤昌尚奨学金」は勉学意欲、人物ともに優れた、学部にて在学する学生の学業を奨励することを目的とした奨学金です。

*立教大学「内藤昌尚奨学金」は本学校友・故内藤昌尚氏のご親族から立教大学に遺贈された寄付金に基づいて、立教大学の学部学生の学業を奨励することを目的とした奨学金です。

両奨学金の出願資格は共通で、同時に募集・選考を行い、「学業奨励奨学金」採用者には年額20万円を、各学部において最も優れた学生には「内藤昌尚奨学金」採用者として年額50万円を支給します（出願者が奨学金を指定することはできません）。

※GLAP所属学生は本要項ではなく「立教大学「GLAP学業奨励奨学金」および「内藤昌尚奨学金」」の募集要項を確認してください。

出願資格 以下の全ての条件を満たす学生

- ① 2023年度秋学期時点で、在学学期3学期目～8学期目のGLAP所属以外の学生（詳細は別紙①「学業奨励奨学金在学学期の考え方」を参照）。
- ② 過去の本奨学金への出願が2回以内の学生（理学部の学生は、過去に本奨学金に採用された場合は出願できません）。
- ③ 2023年度春学期までに修得した、卒業要件単位に含めることができる単位（認定を含む）の合計が標準修得単位数*以上である学生。
 ※標準修得単位数＝卒業要件単位数÷8×（2023年度秋学期時点の在学学期数-1）
 例 卒業要件単位数124単位の休学歴のない2年次生（2023年度秋学期時点で在学4学期目）の場合
 $124 \div 8 \times (4-1) = 46.5$ 単位 ⇒ この場合、47単位以上取得している必要があります。
- ④ 2023年度春学期までに修得した卒業要件単位に含めることができる単位のうち、評価の表示がS・A・B・Cとなった科目の合計単位数に占めるS・A評価の科目の合計単位数が各学部の規定する割合以上である学生。各学部の規定する割合は下表のとおり。

学部	割合
文	50%
経済	2/3
理	2/3
社会	50%
法	2/3
観光	2/3

学部	割合
コミュニティ福祉	2/3
スポーツウエルネス※	2/3
経営	50%
現代心理	50%
異文化	50%

※スポーツウエルネス学部は2023年度対象者なし

<出願に関する注意事項>

- i 出願時に休学中の学生および2023年度秋学期休学予定の学生は出願できません。
- ii 報告書の提出等、別紙②「学業奨励奨学金各学部の詳細について」に定める事項は遵守してください。
- iii 採用者は、大学主催の奨学金授与式（12月9日（土））に必ず出席してください。なお、傷病や留学などやむを得ない理由により出席が困難な場合は採用発表後に申し出てください。
- iv 他の奨学金を受給、出願している学生は、併給条件を各自で確認してください。外国人留

学生で併給条件がわからない場合には国際センターに確認してください。日本政府（文部科学省）奨学金を受給している国費外国人留学生は出願できません。

- v 過去休学歴のある学生で、出願資格の確認をしたい場合は奨学金窓口へ問い合わせてください。

奨学金額/採用人数 学業奨励奨学金：年額 20 万円（給与奨学金） / 全学部合計で 65 名以内
内藤昌尚奨学金：年額 50 万円（給与奨学金） / 各学部 1 名

提出書類 以下(1)(2)(3)(4)^{※1}をクリップ留めし、出願締切日までに窓口もしくは郵送^{※2}で提出すること
^{※1} (4)は該当者のみ提出。^{※2}出願期間中に本学留学プログラムで在学留学中の場合のみメール提出可。

◎すべての提出書類で複数頁となる場合には、2 頁以降の各頁右上に学生番号、氏名を明記してください。（ホチキス不要）

(1) 立教大学「学業奨励奨学金」および「内藤昌尚奨学金」願書

- ・黒ボールペンで記入してください(消せるボールペン使用不可)。
- ・訂正は訂正箇所にも二重線を引き、余白に正しく記入してください(修正液・修正テープ等使用不可)。
- ・理学部の学生は学業奨励奨学金、内藤昌尚奨学金において過年度受給歴がある奨学金への再出願は不可です。自身の受給歴に基づいて今回出願する奨学金の意思を示してください。また、人物照会が可能な問合せ先教員（指導教員等）を記入してください。記入にあたっては必ず事前に教員に許可を得てください。

(2) 「学部の定める書類」

別紙②「学業奨励奨学金各学部の詳細について」参照・ホチキス不要、ワープロ原稿可

(3) 2023 年度春学期までの修得単位が記載された「成績および単位集計情報」

（成績参照システム(<https://r.rikkyo.ac.jp/>)から出力のこと）

- ・3 年次編入学生は編入前の成績証明書をあわせて提出してください。
- ・単位認定申請中の学生で成績参照システムに単位認定結果が反映されていない学生については、教務事務センターが発行する「単位認定通知書」を提出してください。「単位認定通知書」が提出されない場合は反映前の情報で審査します。

(4) 振込口座確認書と通帳のコピー（新規口座登録や登録口座の変更を希望する方のみ提出）

- ・大学に対して本人名義の口座を登録していない学生や登録口座を変更する学生は振込口座確認書と通帳の「金融機関名」「支店名」「口座番号」「口座名義」が明記されたページのコピーを提出してください（通帳レス口座の場合、キャッシュカードのコピーや WEB 通帳の画面を出力したものでも可）。なお、選考の結果不採用の場合は、口座登録・変更は行いません。

出願締切 2023 年 10 月 2 日（月） 窓口開室時間内に窓口提出、郵送の場合は締切日当日消印有効
<出願期間中に本学留学プログラムで在学留学中の場合のみ> 日本時間 2023 年 10 月 2 日（月）17：00 メール必着

<提出窓口>

池袋キャンパス 5 号館 1 階 学生部学生課奨学金窓口
新座キャンパス 7 号館 2 階 学生部学生課奨学金窓口

<郵送提出>

- ・下記送付先に簡易書留等記録が残る送付方法で郵送してください。
- ・新座キャンパス所属の学生も下記送付先に送ってください。
- ・10 月 3 日（火）以降の消印の書類は一切受け付けません。

<送付先>

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 立教大学学生部学生課 学業奨励奨学金係

<※出願期間中在学プログラムで留学中の学生のみ メール送付先>
下記アドレスへ各出願書類をPDF化しメール添付で送付してください。
アドレス：scholarship@rikkyo.ac.jp
件名：学業奨励奨学金および内藤昌尚奨学金 出願
本文：氏名、学生番号、留学中であるためメール提出となる旨

選考方法 書類選考および面接

(1) 書類選考

- ・提出書類により書類選考を行い面接対象者を決定します。
- ・書類選考結果（面接対象者）発表 **2023年10月27日（金）**
- ・面接対象者には発表日当日17:00までにSPIRIT Gmail アドレス（学生番号@rikkyo.ac.jp）宛に通知します。面接選考の対象にならなかった方には連絡を行いません。

(2) 面接選考 2023年10月30日（月）～11月11日（土）実施予定

- ・面接日時は書類選考結果発表時に連絡します。
- ・面接日時は学部ごとに設定します（学生は日時を指定できません）。
- ・選考期間中に留学中の学生については、原則オンラインで行います。

採用発表 2023年11月21日（火）

- ・採用者には発表日当日17:00までにSPIRIT Gmail アドレス（学生番号@rikkyo.ac.jp）宛に通知します。不採用者には連絡を行いませんのでご了承ください。

授与式 2023年12月9日（土）13:30～15:00

会場：池袋キャンパス太刀川記念館3階カンファレンスルーム

- ・本奨学金採用者の参加は義務となります。（傷病や留学により出席が困難となる学生は採用発表後に申し出てください）。

支給日 2023年12月下旬（予定）

備考

- ・出願受付後、内容確認のため電話をする場合があります。出願期間中は大学からの着信（03-3985-XXXX・048-471-XXXX）に気をつけてください。
- ・メール提出は出願期間中に本学留学プログラムで在学留学中の学生のみメール提出が可能です。上記の理由以外でのメール提出は認められません。
- ・採用者については、奨学金制度の広報のため、掲示・学内紙・WEB等に学部・学年・氏名を掲載することがあります。

立教大学学生部学生課 奨学金担当
(池袋) Tel:03-3985-2443 / (新座) TEL:048-471-6924

出願書類に記載された情報は、奨学金業務のために利用し、その他の目的には利用しません。

別紙① 学業奨励奨学金および内藤昌尚奨学金 在学学期の考え方

春学期、秋学期をそれぞれ1学期として数え、2学期で1年間とします。何学期在学しているのかで何年次生相当なのか判断します。休学したことがある学生は、自分が何年次相当なのか注意してください。

- ①学生は最大で3回出願することができます。
- ②半期（春学期または秋学期）在学した場合、在学学期数を「1」とします。
- ③同一年次での出願は1回までです。
- 現在在学3・4学期目（2年次相当） ・ ・ ・ 出願資格が発生します。（1回目）
- 現在在学5・6学期目（3年次相当） ・ ・ ・ 出願資格が発生します。（2回目）
- 現在在学7・8学期目（4年次相当） ・ ・ ・ 出願資格が発生します。（3回目）
- ※3年次編入生は前大学の在学期数を算入するため、本学入学時点で在学5期目となります。

【出願資格例】 2020年度入学、休学歴なしの場合

	春学期	秋学期
2020年度	在学（在学1学期目）	在学（在学2学期目）
2021年度	在学（在学3学期目）	在学（在学4学期目）
2022年度	在学（在学5学期目）	在学（在学6学期目）
2023年度	在学（在学7学期目）	在学（在学8学期目）

⇒2020年度秋学期は在学2学期目のため、出願資格を満たしていません。

2021年度秋学期は在学4学期目のため、2年次相当として出願できます。（出願1回目）

2022年度秋学期は在学6学期目のため、3年次相当として出願できます。（出願2回目）

2023年度秋学期は在学8学期目のため、4年次相当として出願できます。（出願3回目）

【出願資格例】 2020年度入学、休学歴ありの場合

	春学期	秋学期
2020年度	在学（在学1学期目）	在学（在学2学期目）
2021年度	休学	在学（在学3学期目）
2022年度	休学	在学（在学4学期目）
2023年度	在学（在学5学期目）	休学
2024年度	休学	在学（在学6学期目）
2025年度	在学（在学7学期目）	在学（在学8学期目）

⇒2020年度秋学期は在学2学期目のため、出願資格を満たしていません。

2021年度秋学期と2022年度秋学期は同一年次（2年次相当）のため、どちらか1回しか出願できません。（出願1回目）

2023年度秋学期は休学のため、出願資格を満たしていません。

2024年度秋学期は在学6学期目のため、3年次相当として出願できます。（出願2回目）

2025年度秋学期は在学8学期目のため、4年次相当として出願できます。（出願3回目）

★出願資格について不明な点は奨学金窓口にお問い合わせください。

別紙② 学業奨励奨学金および内藤昌尚奨学金 各学部の詳細について

< 共通事項 >			
①学部の定める書類と報告書はいずれも <u>ワープロ原稿可</u> 。			
②選考にあたり <u>経済事情は考慮しない</u> 。			
学部	学部の定める書類	選考基準	採用後の報告書
文学部	企画書 *A4判、書式自由。ただし、その内容は奨学金額の枠に拘束される必要なし。 *内容「願書に書いた学業計画を達成するために本奨学金をどのように使うか、具体的に記入すること。」	①勉学意欲 ②学習計画および企画 ③学業成績	・A4判、書式自由。
経済学部	論文 *2000字 [400字詰め原稿用紙5枚] 以内、A4横書きでも可。 *テーマ「最も興味をもった研究テーマについて、その理由と今後の計画を述べなさい。」	①学業成績 ②学業成績以外の実績や成果 ③学習や研究についての計画の明確性、具体性 ④学習課題や研究課題についての問題関心や問題意識の深さ なお、当該年度に他の給与奨学金を受給していない者が原則として優先されるものとする。また、前年度または前々年度の本奨学金受給者については、受給以降の実績が考慮される。	なし
理学部	なし	①学業成績 ②勉学意欲 ③人物	なし
社会学部	学習活動計画書 *A4判横書き、2000字程度。 *内容「本奨学金によって、あるいは本奨学金を費用の一部として年間または長期休暇を利用して行う予定の広義の学習活動の計画について。」	①学業成績 ②学習計画の内容と具体性 ③学習意欲	・A4判2枚(2000字)以内。 ・奨学金の使途(何をするために、具体的にどのように使用したのか)、およびその成果を記述すること。
法学部	なし	①選考は、学業成績を中心とし、学業計画、勉学意欲、人物評価を加味します。 ②修得単位が少なすぎるものは、選考の対象としません。	・A4判1000字程度、書式自由。

学部	学部の定める書類	選考基準	採用後の報告書
観光学部	学習活動計画書 *A4判横書き、2000字程度。 *内容「本奨学金によって、あるいは本奨学金を費用の一部として、年間または長期休暇を利用して行う予定の企画あるいは広義の学習活動の計画について。」(願書の記載内容を踏まえて具体的に記入すること)	①学業成績 ②勉学意欲 ③人物	・A4判1枚程度。 ・奨学金の使途と成果について、記述すること。
コミュニティ福祉学部	学習活動計画書 *A4判横書き、2000字程度。 *内容「本奨学金によって、あるいは本奨学金を費用の一部として、年間または長期休暇を利用して行う予定の企画あるいは広義の学習活動の計画について。」(願書の記載内容を踏まえて具体的に記入すること)	①学業成績 ②学業成績以外の実績や成果 ③学習や研究についての計画の明確さや具体性 ④学習意欲、問題意識など学習・研究活動に対する積極性	・A4判(字数自由)。 ・学習活動計画書に基づいた奨学金の使用状況を、何にいくら使ったのかを明確にして報告すること。
スポーツウェルネス学部 (2023年度は対象者なし)	学習活動計画書 *A4判横書き、2000字程度。 *内容「本奨学金によって、あるいは本奨学金を費用の一部として、年間または長期休暇を利用して行う予定の企画あるいは広義の学習活動の計画について。」(願書の記載内容を踏まえて具体的に記入すること)	①学業成績 ②学業成績以外の実績や成果 ③学習や研究についての計画の明確さや具体性 ④学習意欲、問題意識など学習・研究活動に対する積極性	・A4判(字数自由)。 ・学習活動計画書に基づいた奨学金の使用状況を、何にいくら使ったのかを明確にして報告すること。
経営学部	学習活動計画書 *A4判横書き、2000字程度。 *内容「本奨学金によって、あるいは本奨学金を費用の一部として、年間または長期休暇を利用して行う予定の広義の学習活動の計画について。」	①学業成績 ②学習計画の内容と具体性 ③勉学意欲	・A4判2枚(2000字程度)。 ・奨学金の使途、およびその成果を記述すること。

学部	学部の定める書類	選考基準	採用後の報告書
現代心理学部	企画書 * A4判、書式自由。ただし、その内容は奨学金額の枠に拘束される必要なし。 * 内容「願書に書いた学業計画を達成するために本奨学金をどのように使うか、具体的に記入すること。」	① 勉学意欲 ② 学習計画および企画 ③ 学業成績	なし
異文化コミュニケーション学部	企画書 * A4判横書き、2000字程度。 * 内容「願書に記載した学業計画を達成するために、本奨学金をどのように使用するか、具体的に記入すること。」	① 学業成績 ② 学習計画の内容と具体性 ③ 学習意欲	・A4判1枚程度。 ・奨学金の用途と成果について、記述すること。